



HKT

ひこたん

タイムス

枚方市立
東香里小学校
研究通信

VOL. 3

2025年5月9日 TM担当 ピオルコフスキー潤

HKTアンケート(4月)

子どもたちの現状の意識を把握し、今後の研究に活かす目的で、HKTアンケートをしました。今年度、新しく設定した、育成を目指す6つの資質・能力についての質問、探究のサイクルの中で、子どもたちが得意と感じている活動、苦手と感じている活動は何か、探究学習の目的について…など、約20の質問に、探究的な学習を経験している2年生～6年生の子どもに答えてもらいました。

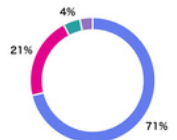
その結果、まず探究的な学習をする上で前提となる、「安心」に関わる項目では、「クラスや学年は、どんな考えや思いも発表しやすい雰囲気である」という質問に対して、「あてはまる」、「ややあてはまる」という答えを合わせると89%となり、概ね「安心」な環境で、学習に取り組んでいることがわかりました。しかし全ての子どもが「安心」して学ぶ環境づくりにはまだ課題があり、今後も「安心」できる学級・学年・学校づくりに努めていきたいと思えます。

次に6つの資質・能力についての質問でも、「あてはまる」、「ややあてはまる」を合わせると、いずれも80%以上となり、これまでの探究学習の成果として、子どもたち自身が実感を持って、育成を目指す資質・能力が育まれてきていることがわかりました。

6つの中でも最も数値が高かった項目は、コラボレーション(協働)とコミュニケーション(対話)に関する項目で、どちらも肯定的な回答が92%に至り、友達や、共に探究を進める他者と、積極的に対話し、課題や問題の解決に向けて協力し、協働的に取り組んでいることがわかりました。一方で、クリティカルシンキング(批判的思考)や、クリエイティビティ(創造)はそれぞれ、80%、82%に留まり、系統的に積み上げていく力は発達の段階によって意識が変わることや、全ての子どもたちが実感を持てる程には至っていないことがわかりました。

その他、特に肯定的な数値が高い項目は、「探究学習は将来、役に立つと思う」という質問で、92%の子どもたちが、「あてはまる」、「ややあてはまる」と答えていました。また、「探究学習は楽しくやりがいがある」という質問には、86%が肯定的な回答をしたものの、記述回答の中には、「何をしたいのかわからず難しい」、「発表やプレゼンが苦手」という意見もあり、探究学習を難しい、苦手と感じている子がいることもわかりました。

アンケートの結果を受けて、HKTが、子どもたちにとってよりよい学びとなるよう、研究を進めていきたいと思えます。アンケートは毎学期行う予定ですので、また報告させていただきます!

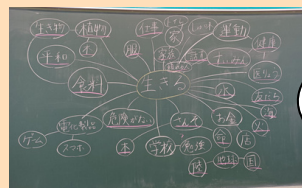


5年生「生きる」について考える



5年生は4年生での「未来大阪プロジェクト」から対象を広げて、日本でよりよく「生きる」には?について考えました。日本は「生きやすい国」と考える子どもたち。でもその「生きやすさ」ってなんだろう?本当にその「生きやすさ」は続くの?今でも「生きにくさ」を感じている人がいるかも?

そこで、「生きる」ために何が必要か、よりよく「生きる」とはどういうことか、みんなで考えてみました。「お米は高くなってスーパーにも無かったなあ。」「たよれる人がいないと心配になるよ。」「水や空気、自然、全部つながっているね。」と、自分たちの生活から連想してたくさんの意見が出ました。何が起るかわからない未来を生き抜く「サバイバー」になるには?



ここから5年生の探究が始まります!

よりよく「生きる」にはいろんなことやものが必要なんだね

「生きる」ために必ずいるものとあったらいいものど...

2年生 学校たんけんプロジェクト



校長先生にインタビュー!

調べ方いろいろ
・見に行く
・聞いてみる
・写真を撮る
・話し合う
などなど...



2年生、「学校たんけんプロジェクト」では、1年生といっしょに学校を探索して、小学校の先輩として、いろいろな場所を紹介します。1年生という相手を想定しながら、見やすく、わかりやすく、伝えたいことが伝わる工夫をしながらポスター作りをしています。一緒に探索するのが楽しみです♪

HKTキャラ募集中!ステキなキャラがどんどん集まってきています♡



HKTキャラがいっぱい集まってきています!かわいいHKT、かっこいいHKT、たよれるHKT、いっしょに遊べるHKT、みんなのなぜ?を食べるHKT...みんなの思いや願いがつまったステキなHKTたちです。🌈締め切りは16日です。まだまだHKTが増えそうですね♪